

青森で生きる未来人財育成事業(高校生地域活動促進事業)第1回対面講座 [西北地区]

令和7年7月13日(日)10:00~12:00 五所川原市地域福祉センター 受講者11名

1 内容

【テーマ】「子育て支援ボランティア

今動くことが未来を変える～現代の育児には高校生の力が必要～」

【講師】 family café あづま～る 代表 藤林 秀 氏

【経歴】

平成30年から、五所川原市において月1回活動している子育てサロン family café あづま～るの代表を務めている。

これまで認可保育園や児童デイサービスにて勤務し、平成30年からは、特定非営利活動法人ほえみの会就労継続支援B型事業所プラスにて勤務しながら、NPO法人ファザーリングジャパン東北青森支部の副代表や五所川原市ボランティア連絡協議会の理事等を務めている。



【講義要旨】

- 子育て支援とは、全ての子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、国若しくは地方公共団体又は地域における子育ての支援を行う者が実施する子ども及び子どもの保護者に対する支援と定義されている。子育て支援が必要となった背景として、地域のつながりの希薄化や核家族化の進行、共働き世帯の増加、少子高齢化と人口減少が挙げられる。
- 子育てサロンへの参加により、保護者にとっては、孤独・孤立の防止や母親同士の繋がりや醸成等につながる。高校生にとっては、仲間とのポジティブな経験が増えることで高い満足感を得ることができ、日常生活や学校生活にも活発的に取り組むことができるようになる等の効果が期待できる。
- ボランティアを続けるためには、①複数のボランティア先から選んだか、②説明や振り返りが丁寧か、③自分にとって、居心地が良いか、④自分の中で満足感・達成感があったかどうかについて振り返ることが大切である。

2 受講者の感想

- ・現代の母親や若者は孤独を感じていて、それを減らすためには、居場所の確保や地域で助け合うことが大切だとわかりました。私も将来、保護者の相談を受けられるような保育士になりたいと考えました。
- ・地域一体で協力的な活動ができるのはすごく良いことだと思いました。自分のためにも、他の人のためにも、『あづま～る』のようなボランティアに率先して参加していきたいと思いました。
- ・こどもと関わる機会が少ないので、貴重な体験ができて良かったです。今回のボランティアをとおして、社会やこども支援のことをもっと詳しく知り、今後の進路活動に生かしていきたいと思いました。